







小さくした反動で  
意識失ってたけど  
動けるように  
なったみたいだね

ズ

ズ

おはよー

小人になった  
変態さん

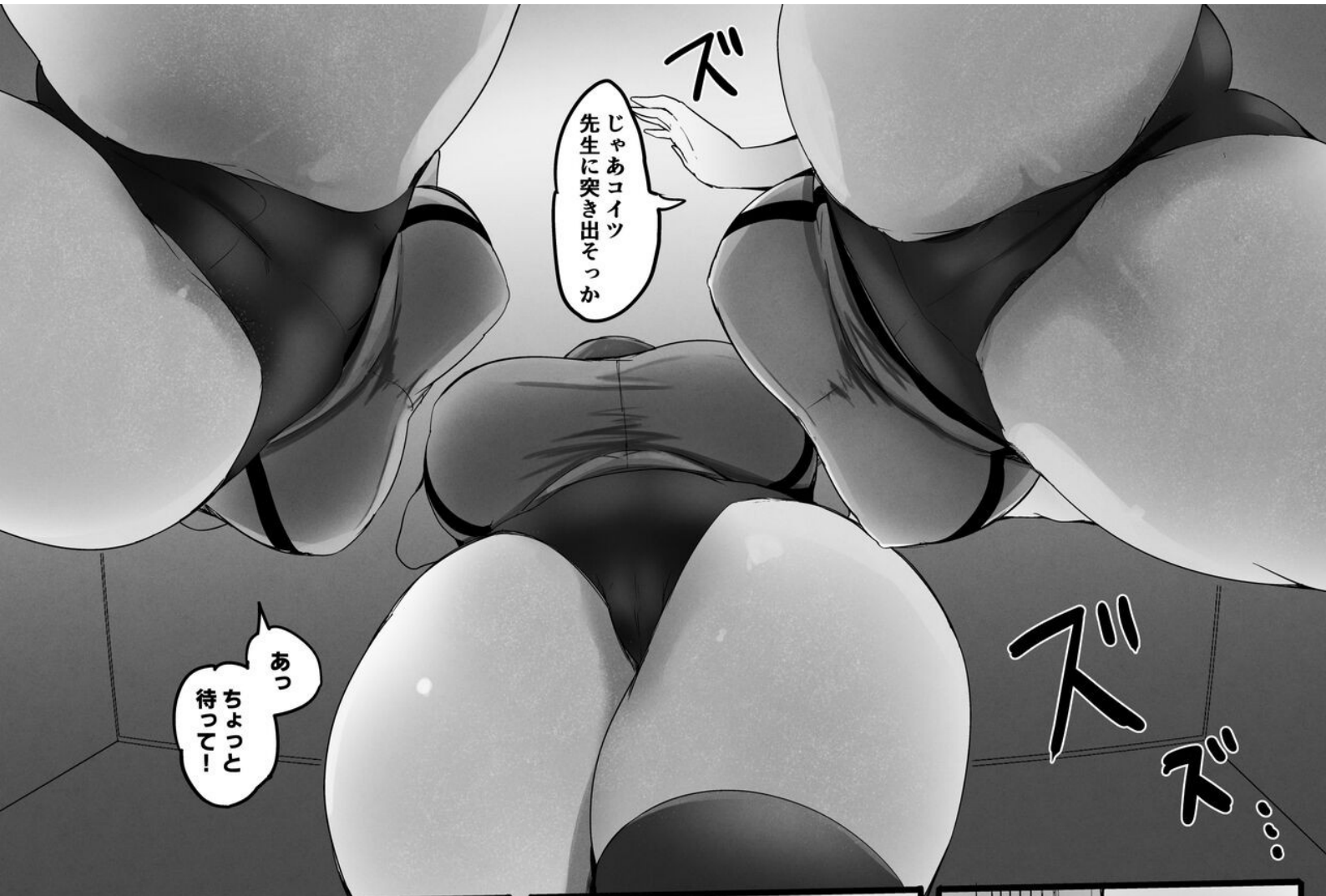
ズ

アンタは  
もう絶対に  
逃げられない  
からね？

ウス

あ  
っ  
め





じゃあコイツ  
先生に突き出そっか

あつ  
ちよつと  
待って！

ズズ...



私のパンツ  
どうだった？  
汗で湿って  
匂ったでしょ？

それとも  
女の子の汗の  
ニオイが好き...  
とか？



私って  
結構汗っかきで

だから替えの下着を  
いつも用意して  
るんだけど...



この子って  
確か私の下着を  
持ってたんでしょ？

え？  
うん  
そうだけど





正直に  
たまたま開いた  
ロッカーがこの子  
のだったって  
言ったほうが  
良いのかな…

でも  
この子に気に入られれば  
もしかしたら  
見逃してくれるかも…?



ねーねー  
楓<sup>かみで</sup>っち

この子の事は  
私達のヒミツにして  
この子を私に  
預けてくれない?

え…?



それは  
もちろん  
毎日の部活でかいた  
汗を一滴残らず飲んで  
もらうの！



ん？  
ん？

もわわ

小さくした男子が  
私の大量の汗を  
頑張っ飲んでる姿って  
最高にカワイイんだよ！



あ...!



うーん？  
まあねー

え...  
そんなこと本当に  
やったの？





イグチッ!

んっ?

私ってその...  
スタイルに自信が  
無いから...

うん...

いグッ

ニ。ろっ

この子に一日中  
私の体に密着  
してもらって...  
体のことを  
ほ  
褒めてもらいたい...

はっ♡

はっ♡



わ  
私も...  
その子...

か  
飼ってみたい

ほのかも?



なっ  
何が

楓<sup>かえで</sup>っちは  
どうする...?

えっ

この子  
使って  
みたくな...?



じゃあ  
ほら



いいよー

軽

さきちゃん...  
いいかな?



男子となんて  
まともに喋ったこと  
無いし...

ぐき

じっ

でも...  
こんな  
ちっちゃいなら



え...  
いや  
別に私は...

たじ  
こ

男子だよ？  
興味あるでしょ

興味無くは無い...  
けど

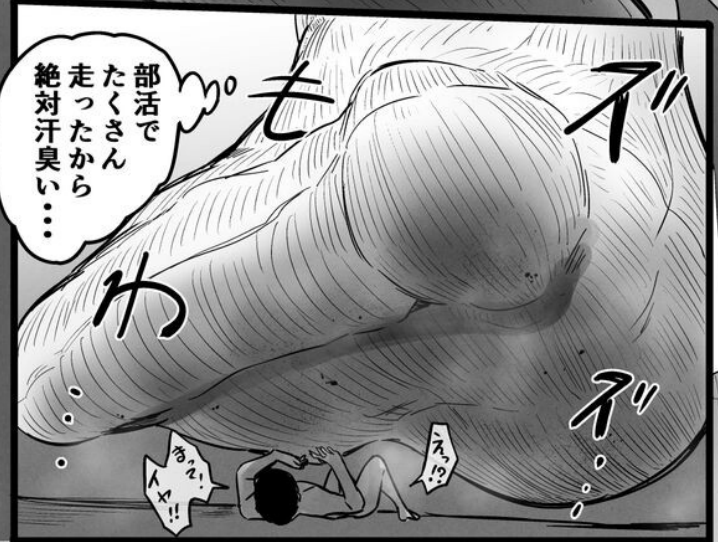
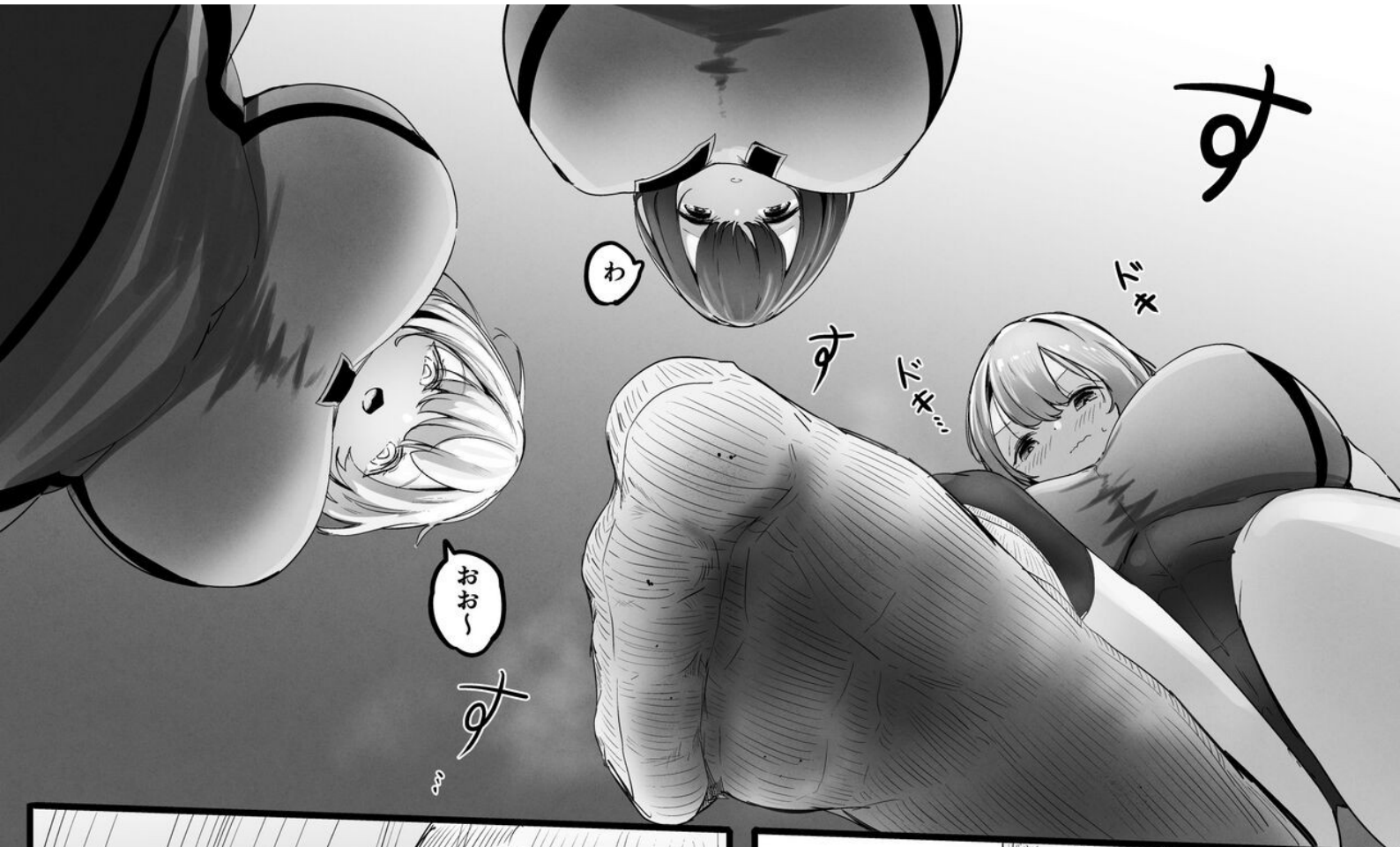


ずる  
ずる



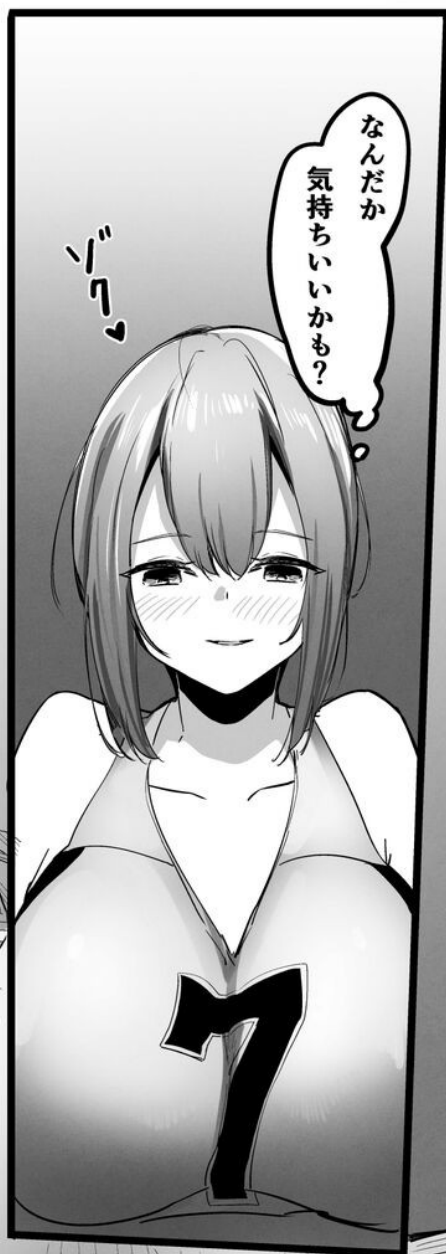
えっと...  
少し  
試してみても  
いい？













こうして僕の  
女の子に  
飼われる夏休みが  
始まった

今日も  
あつついねー  
汗止まないよ

ふい

CC



ビュッ

そんな小さくても  
ちゃんとアタシの  
言うこと  
守れるよね？

ポタッ



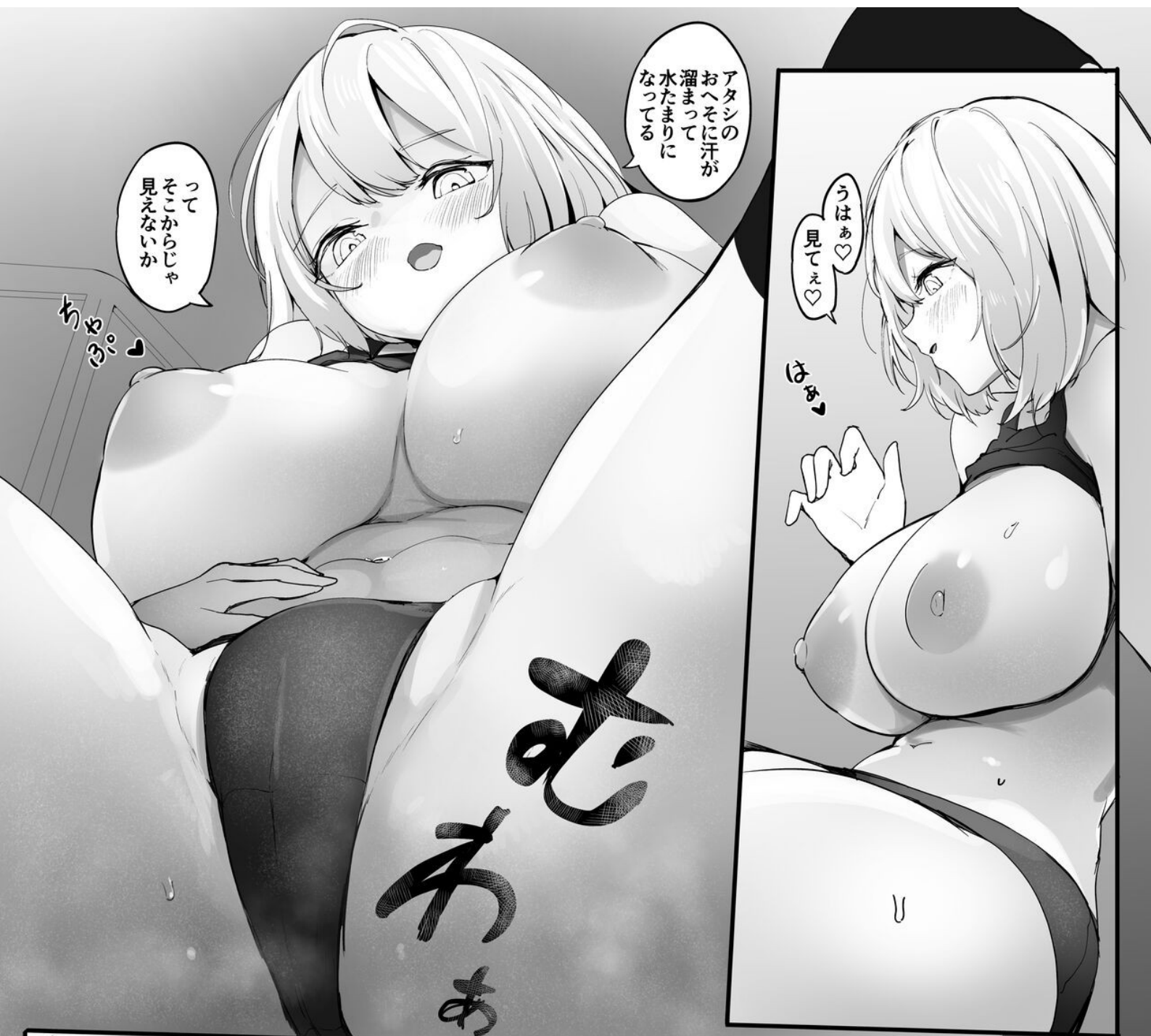
あれ？  
どうして君  
この前より小さく  
なったんの？

あ  
アタシが  
縮めすぎたん  
だった

グヘーッ

ちぎっ  
る  
二









た  
3.0  
♡

むわあ...

わあ  
あっぱれの最中  
汗すー

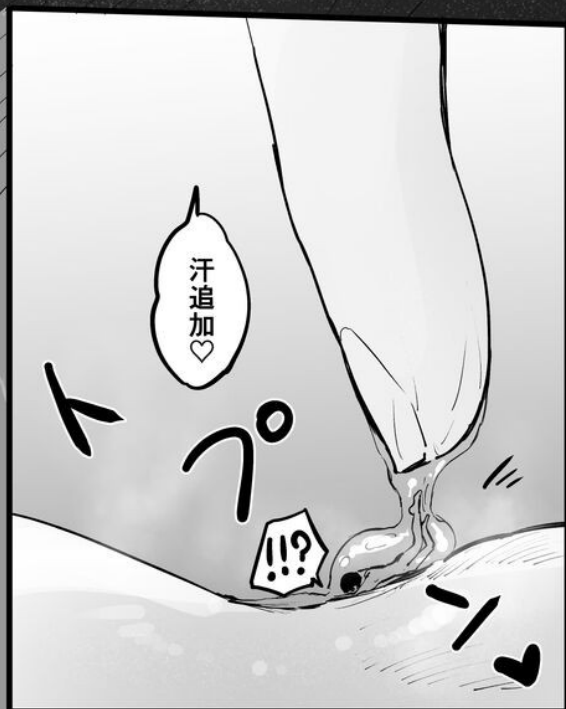


ズ

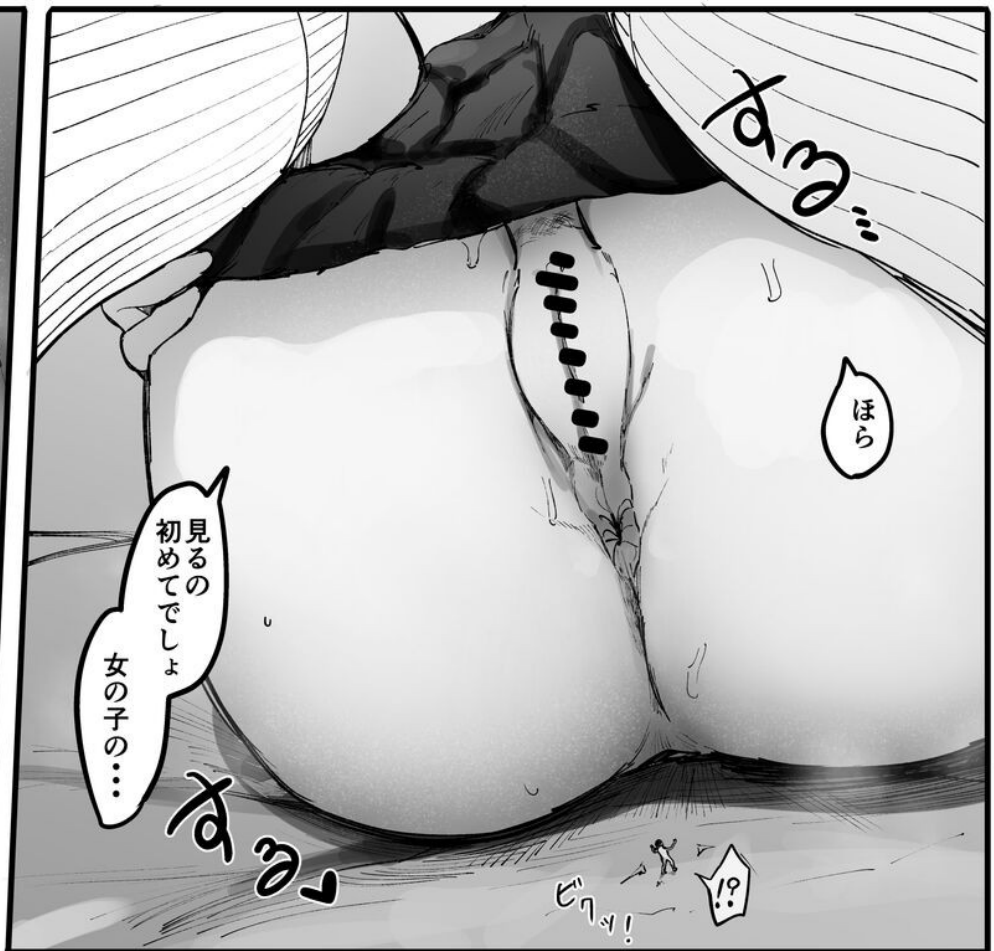
時折聴こえる  
お腹からの  
音が僕を  
急かしてる  
みたいで  
生きてる  
心地がしない

ズ

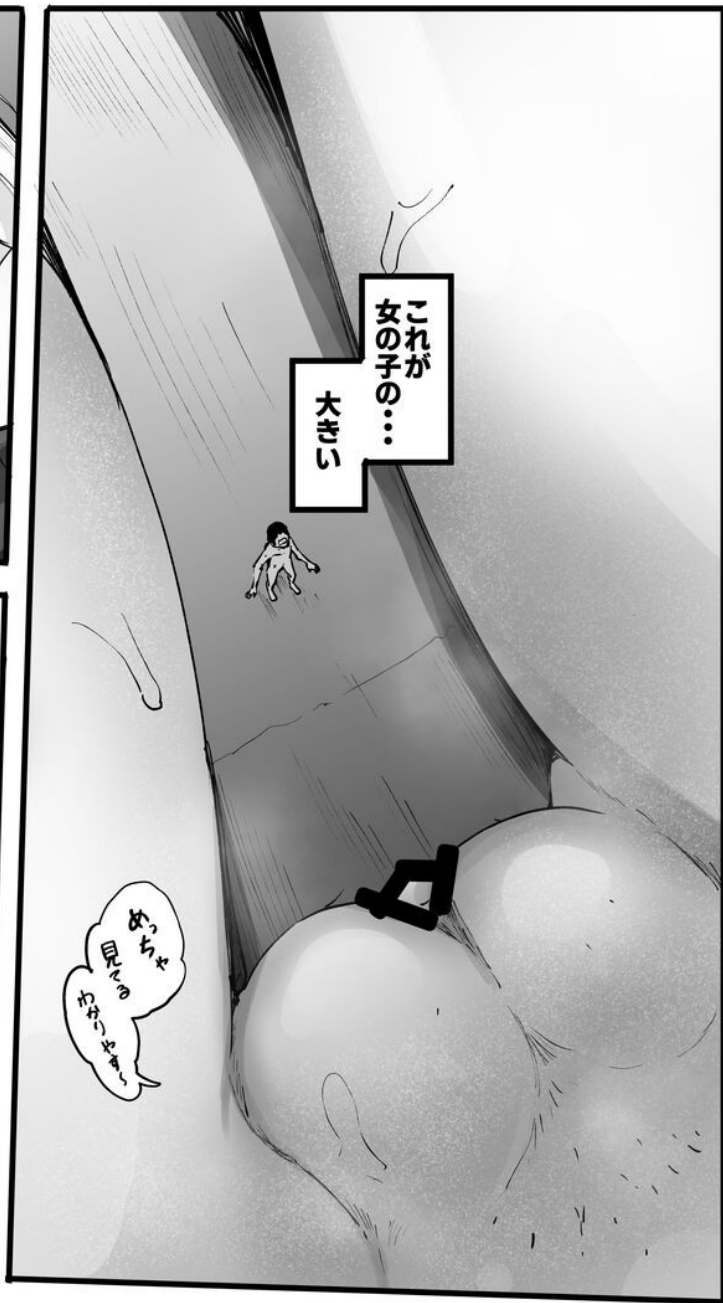
塩辛い...  
こんなの  
飲み干すなんて  
絶対に不可能

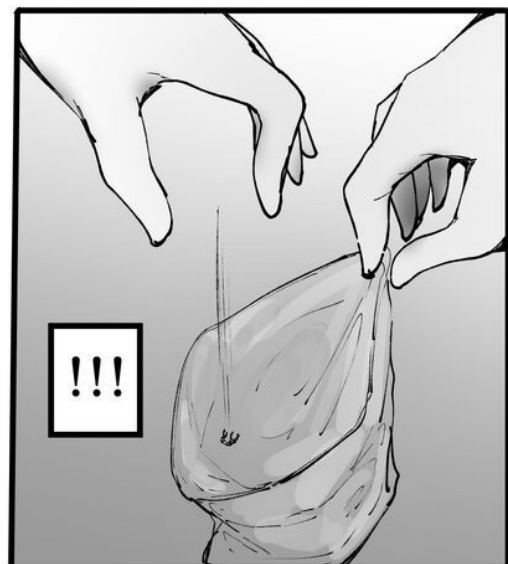


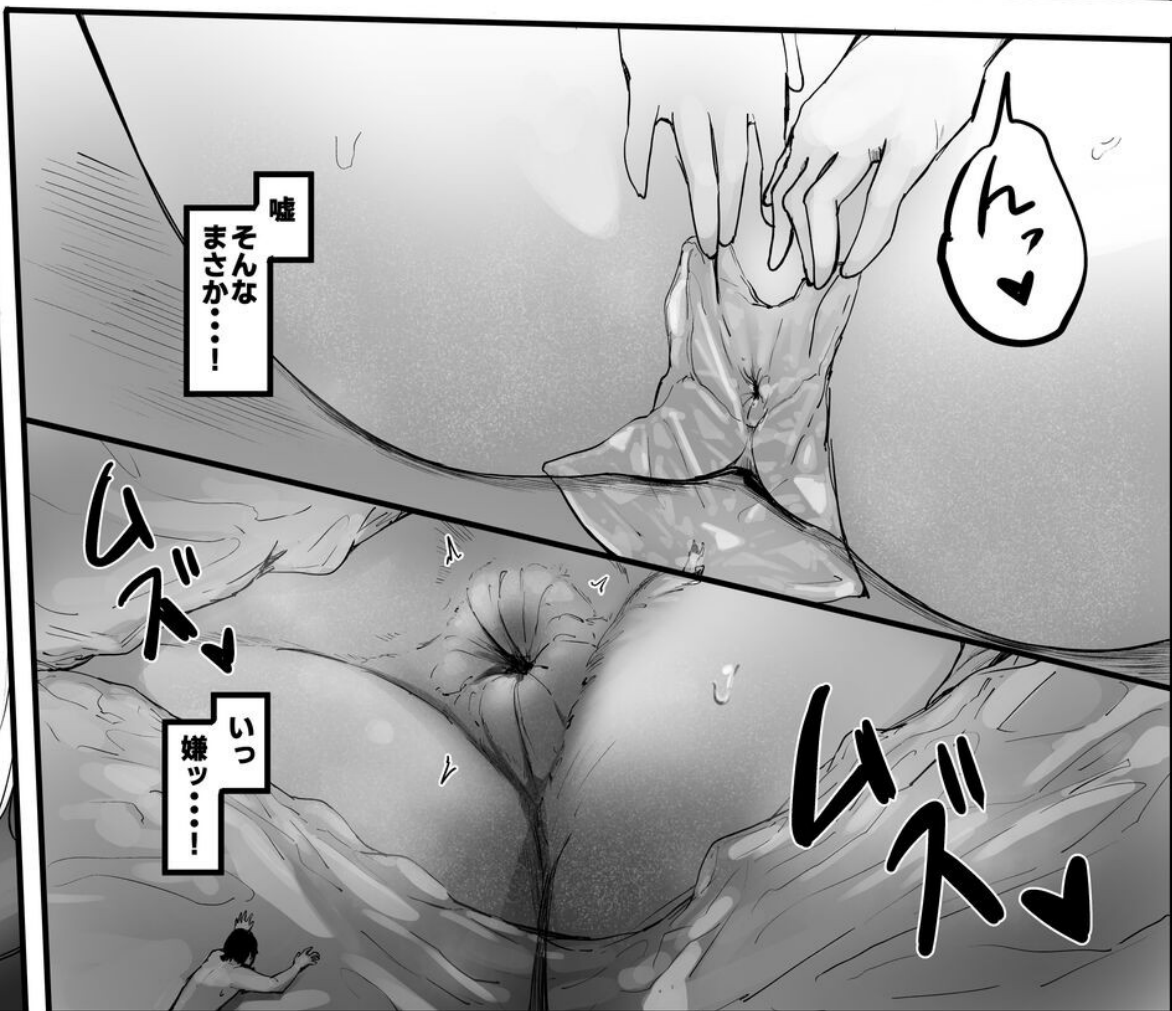






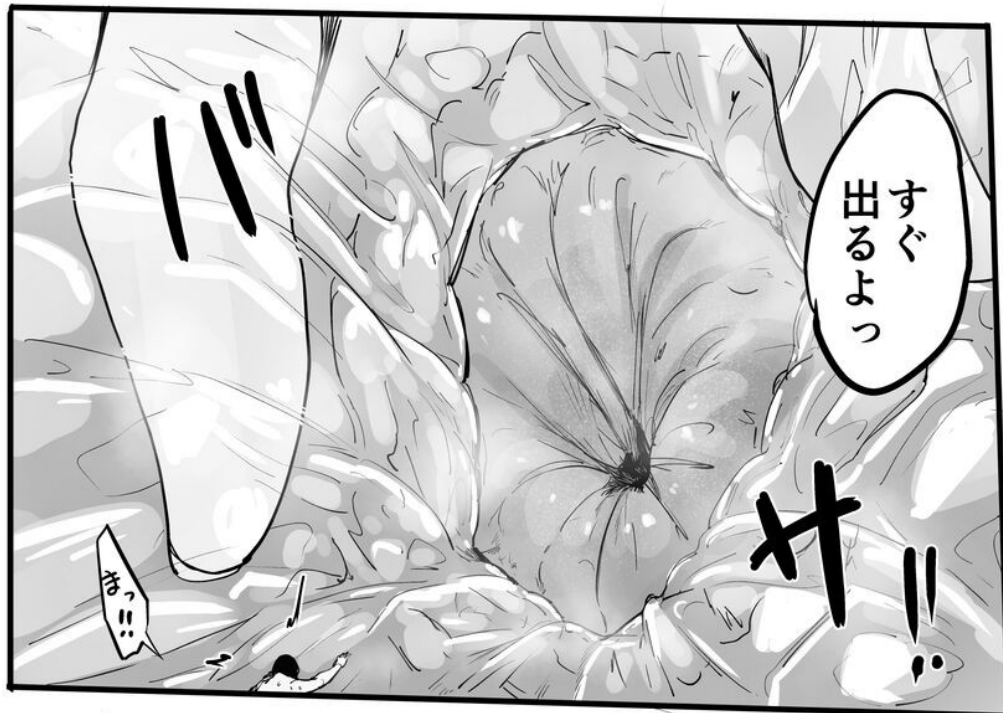
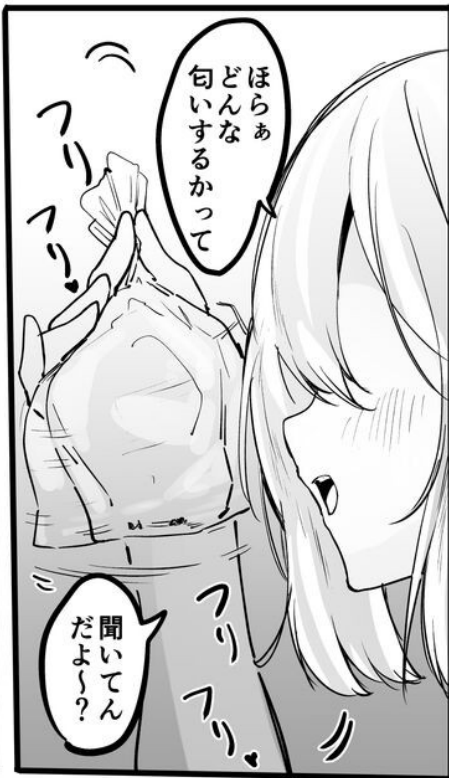








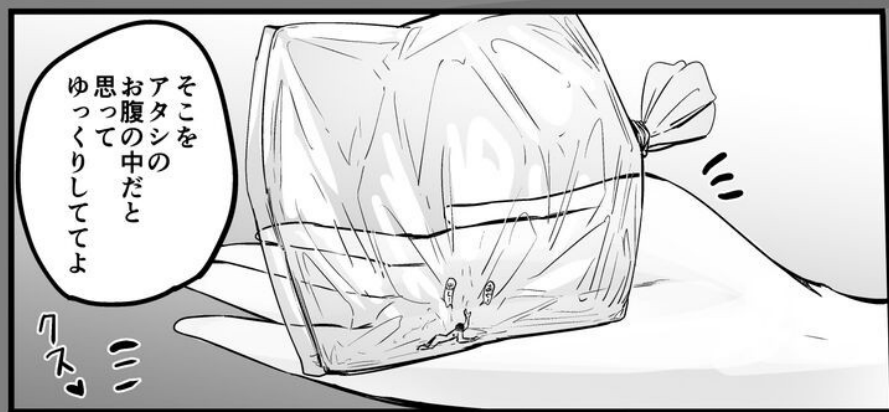


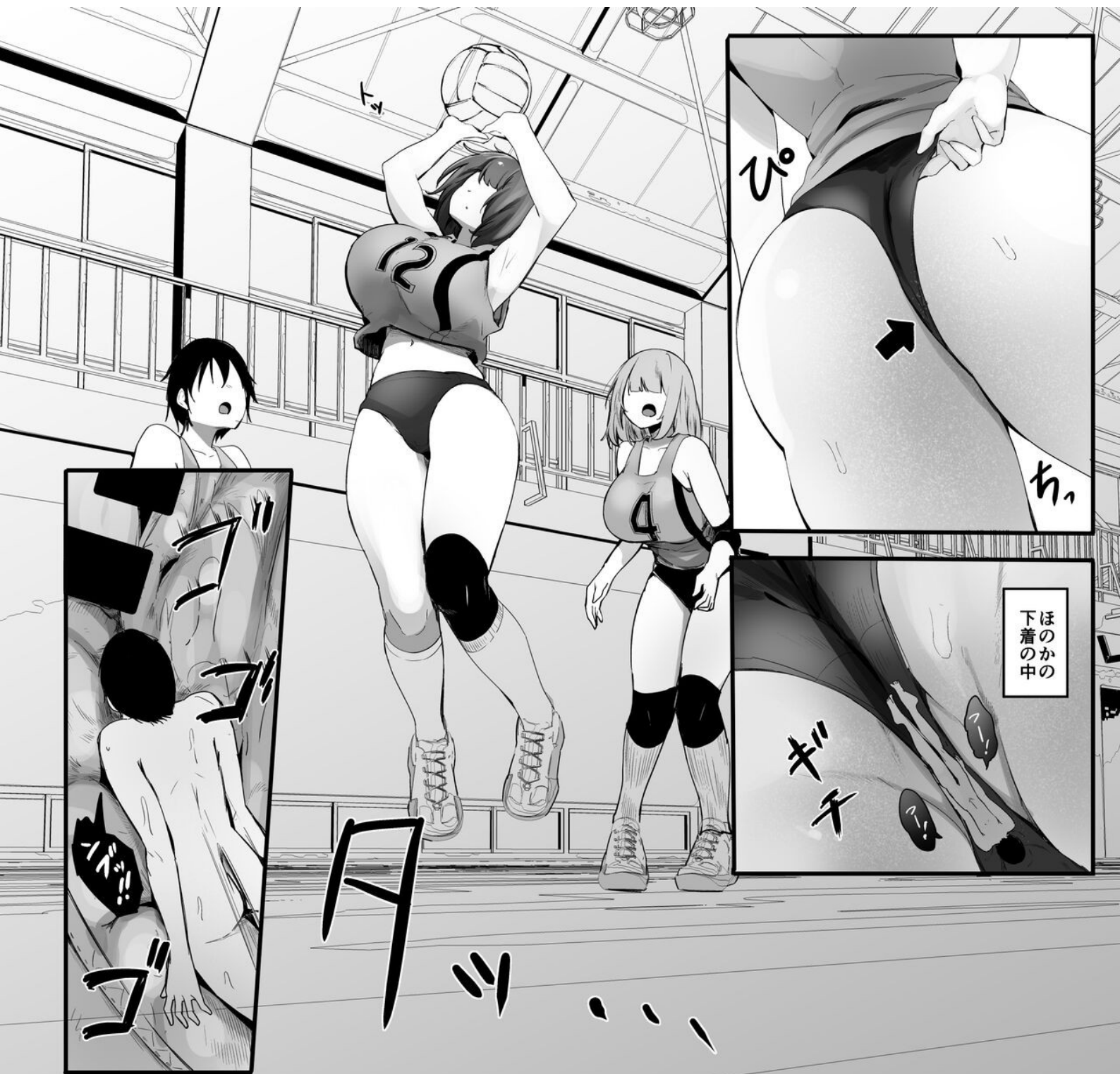




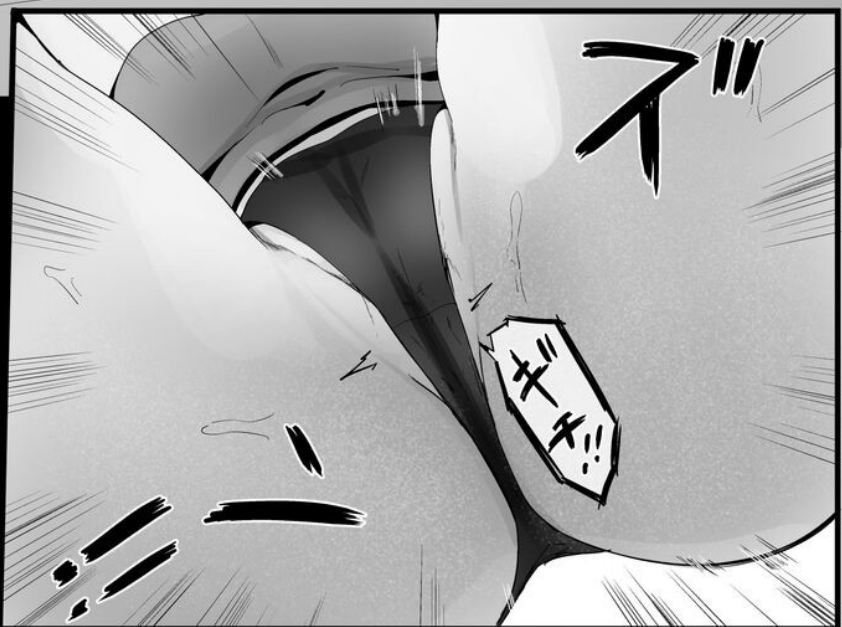
アタシのオナラで  
おかしくなっちゃえ♡







ほのかの  
下着の中









今日も…  
暑かったね

でも  
君と一緒に  
いてくれたおかげで  
私…頑張れたよ



すゐん  
君は…  
どうだった?



私とずっと  
一緒に居られて  
嬉しかった?

ねとま

しゅわあ

はあっ  
はあ…!!







翌日

え…？

「今日は下着の  
中に入りたくない」って…

どっ  
どうして  
そんなこと  
言うの？  
なんで

わ  
私の事  
嫌いになったの？  
「ちがう」？

「暑くて  
苦しいから」？

昨日あんなに  
好きって  
言ってくれたのは  
嘘だったの？  
…

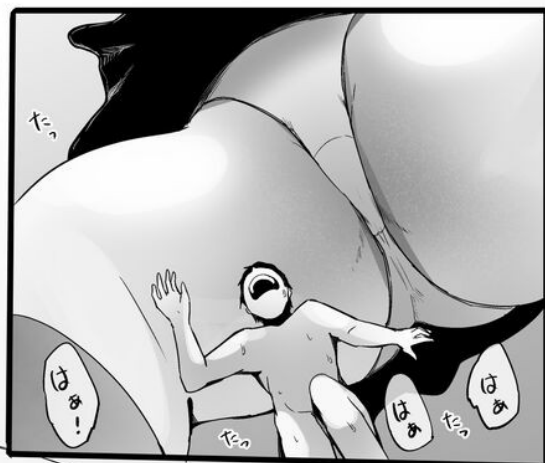
ズ

ズ

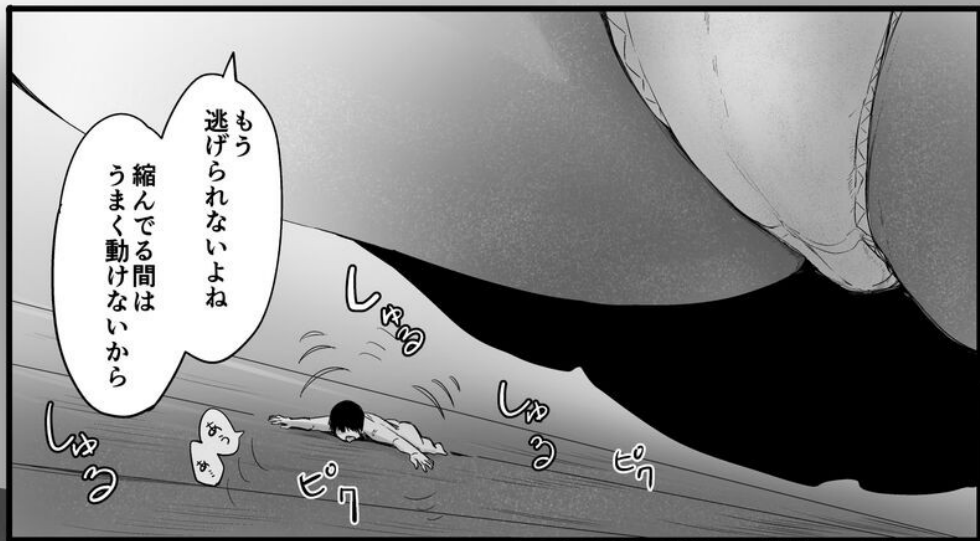
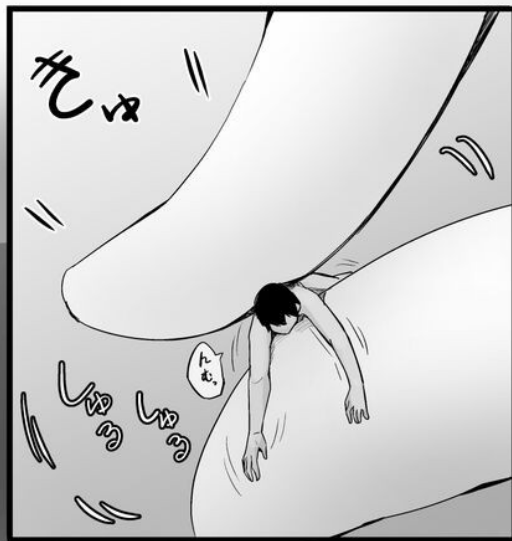
ズ

じい  
じい  
じい











匂いと  
湿度でわかる  
ここは  
ほのかさんの  
下着の中



あれ  
ここは...

あ...



僕は今  
どれくらい  
小さいんだろう...?



あれから  
更に小さく  
させられて  
また下着の中に  
閉じ込められ  
たんだ





…え!?



いや  
自分が  
小さすぎるんだ…!

小さすぎて  
今どれほどの  
サイズなのか  
は想像できない!!



そ  
そんなっ

大きすぎる!



目が覚めた？

あ

モゾモゾ  
動いてるね

おはよ...

あの後縮んでる最中でも  
スプレーかけて  
小さくし続けたから  
とっても小さく  
なっちゃったね

表情も  
わからないし

ちぎっ

君の声も  
私には届かない

これだけ  
小さくすれば...

「君」の現在身長：0.3mm

「君」から見た  
ほのかの身長：10Km

もう  
絶対に逃げられない  
でしょ？

ぼや

自分が  
どれだけ  
小さいかも

ほのかさんが  
何を言っているかも  
わからないなんて...

もう僕は...

空気が振動してる...？

何か  
喋ってるの  
かな







本当に男の子って  
おちん○ん  
いじられるだけで  
勝手に気持ちよく  
なるのね

指でつまんで  
動かすこれを  
セックスだと  
勘違いしてるの？  
あはっ  
バカみたい♡



嬉しそうな声で  
鳴いちやって



私の  
小○ん○ん

なんで  
私達も一緒  
なの？



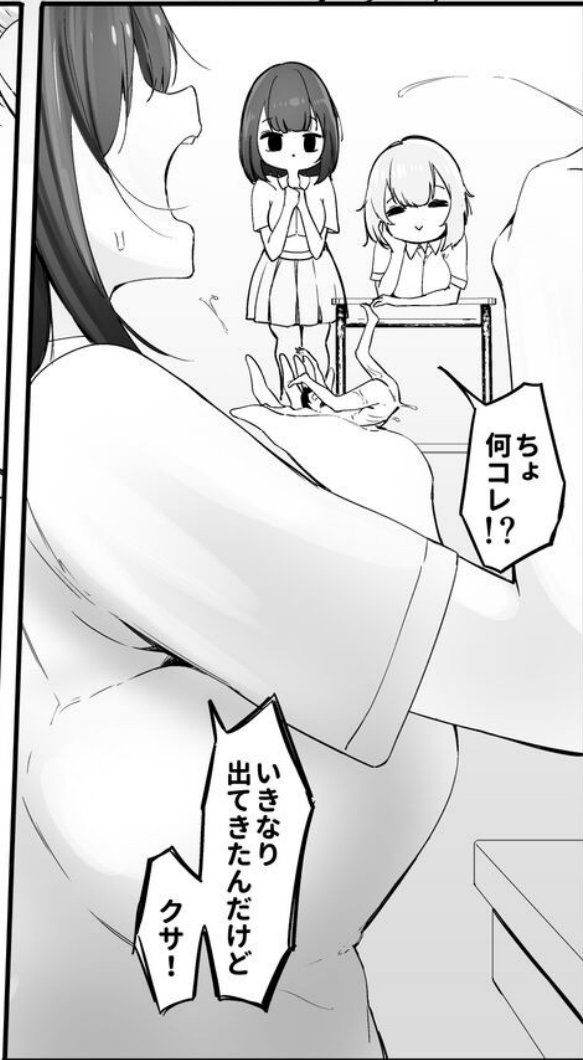
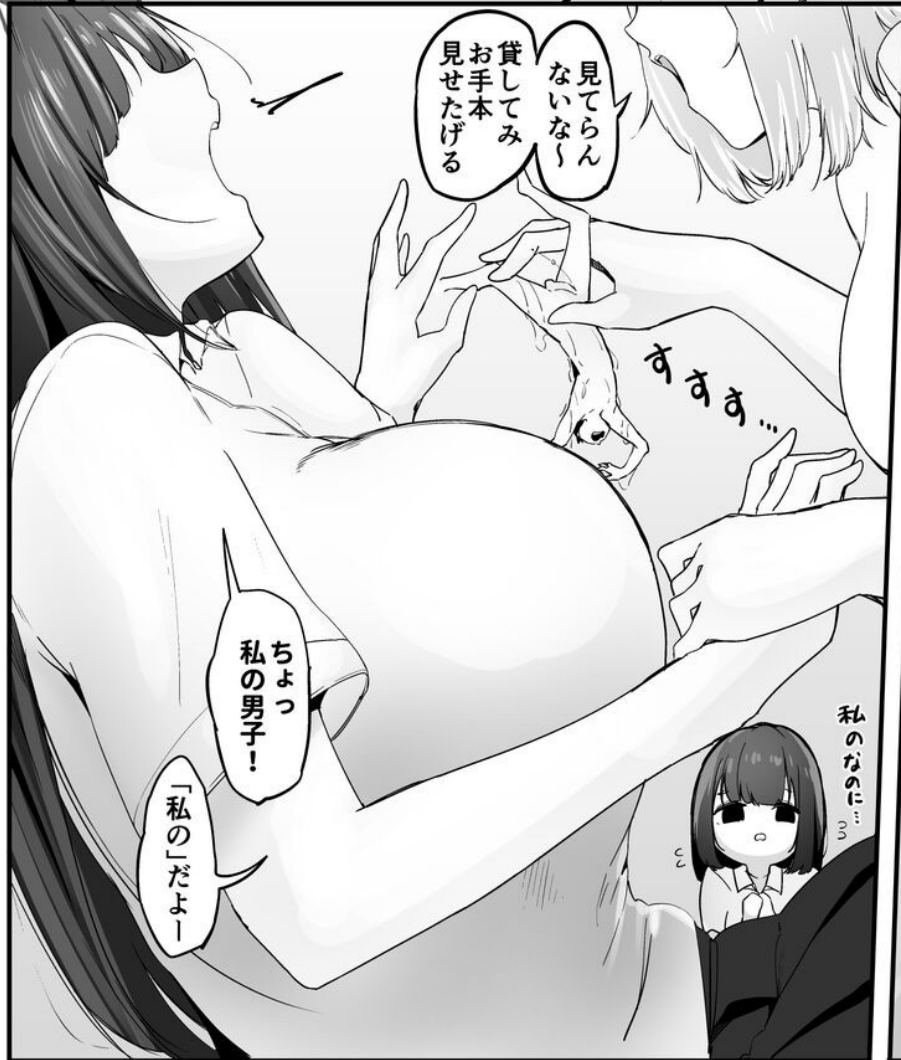
だめよ？  
勝手にイッたら

射精したら  
さらに縮小  
わかってる  
わよね？



それは  
いいんだけどさー

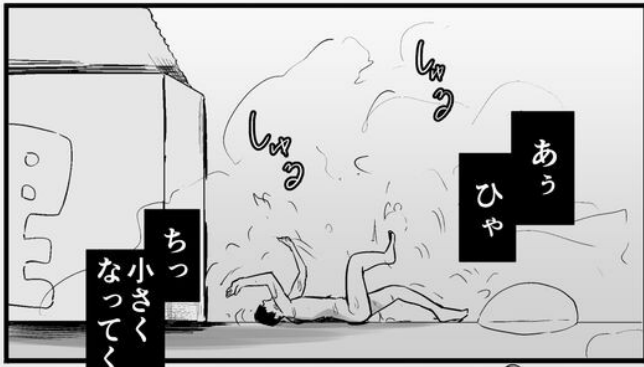














起きた

あ

かえで  
楓ちゃん  
落としちゃ  
ダメだよ?

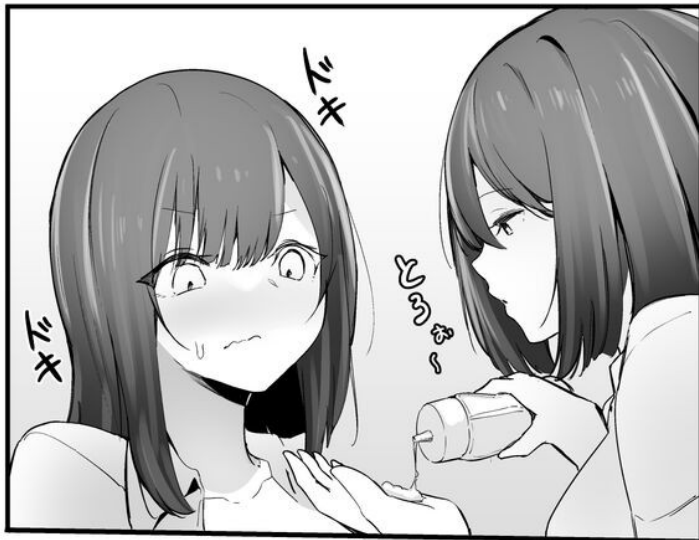
だ  
大丈夫よ

それより  
2本でやるの?

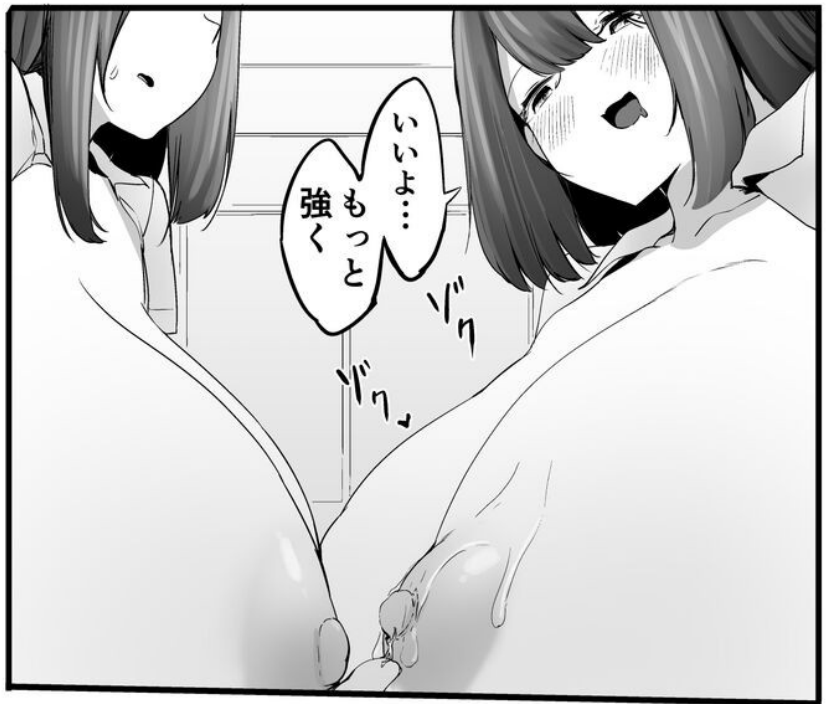
うん

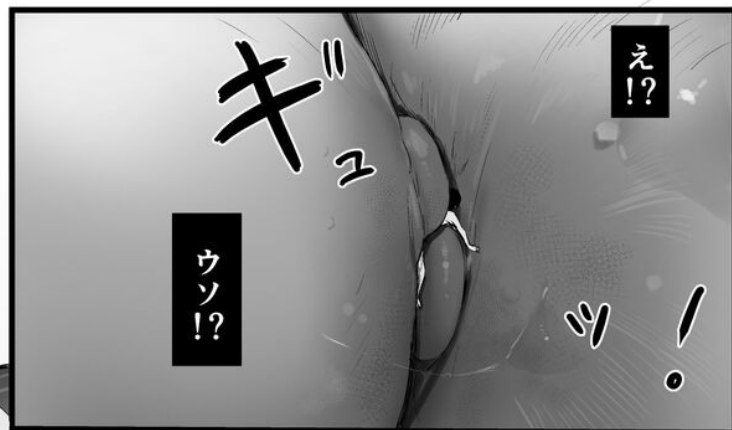
!!?

\*現在身長: 8.5 mm









だろ♡

ギク

グニ♡



すごい  
熱気と湿度と

手で耳を塞いだ時のような  
音が轟音になって  
体の芯まで響く

まるで  
女の子の口から  
飲み込まれたと  
錯覚してしまいまそう



うぐっ

全然  
身動きが取れない

けど

1センチも無い  
おかげで  
乳首のわずかな  
シワに挟まって  
潰れずに済んだ



重低音が  
体を震わせて  
こするって



き  
気持ちいい…!

続く...



この巨大な肉壁が  
女の子の乳首で

その標的が  
小さすぎる  
僕だなんて…



はぁー♡

気持ちいい



はぁー♡

1センチにも  
満たない  
豆粒みたいなのが  
おっぱいに当たっている  
だけなのに...

キチ

キチ!!

んんん!!!

トグン

それが  
小さくなった  
男子っただけで  
こんなにドキドキ  
するなんて

トグン

この子...  
一生懸命  
動いてくれてるね

三チ

三チ

ム  
ム  
ム

三チ

三チ

そっ  
そうねっ



うああ  
乳首勃起してるの  
絶対ほのかにバレてる

メリメリ

ヒキ  
ヒキ  
ヒキキ!

トキ

でも  
いっか...

こんなに  
気持ちいいん  
だから

トキ



